

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 11 月 13 日(2023.11.13)

【公開番号】特開 2023-138810(P2023-138810A)
【公開日】令和 5 年 10 月 2 日(2023.10.2)
【年通号数】公開公報(特許)2023-185
【出願番号】特願 2023-130940(P2023-130940)
【国際特許分類】
A 6 1 M 5/14(2006.01)
【F I】
A 6 1 M 5/14 5 1 0

10

【手続補正書】
【提出日】令和 5 年 11 月 2 日(2023.11.2)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

20

医療デバイスの流体インターフェースであって、前記流体インターフェースは、
流体コネクタであって、前記流体コネクタは、第 1 の端部と、第 2 の端部と、前記第 1 の
端部と前記第 2 の端部との間の流体連通を制御するルアー作動式弁とを含む、流体コネク
タと、
前記第 2 の端部と流体連通する管類と、
第 1 の開口と第 2 の開口とを含む筐体であって、前記筐体は、前記流体コネクタの少なく
とも一部を含有し、前記流体コネクタの前記第 1 の端部は、アクセス可能である、筐体と
を備える、流体インターフェース。

30

【請求項 2】
前記筐体は、前記第 1 の開口に近接するベル形状の端部を含む、請求項 1 に記載の流体イ
ンターフェース。

【請求項 3】
前記ベル形状の端部は、前記医療デバイス上に配置されている 1 つ以上のラッチによって
受容されるように構成されている、請求項 2 に記載の流体インターフェース。

【請求項 4】
前記 1 つ以上のラッチは、前記医療デバイスのインターフェースホルダ内に配置されてい
る、請求項 3 に記載の流体インターフェース。

【請求項 5】
前記筐体は、情報を前記医療デバイスのオペレータに伝達するように構成されているイン
ジケータを含む、請求項 1 に記載の流体インターフェース。

40

【請求項 6】
前記流体コネクタの前記第 1 の端部は、前記第 1 の開口からアクセス可能であり、前記管
類は、前記第 2 の開口内に配置されている、請求項 1 に記載の流体インターフェース。

【請求項 7】
前記流体コネクタの前記第 1 の端部は、前記第 1 の開口から外に突出し、前記管類は、前
記第 2 の開口内に配置されている、請求項 1 に記載の流体インターフェース。

【請求項 8】
前記第 1 の端部は、注入ポンプに接続するように構成されている、請求項 1 に記載の流体

50

インターフェース。

【請求項 9】

前記第 1 の端部は、第 2 のルアー作動式弁を含む第 2 の流体コネクタを介して、前記注入ポンプに接続するように構成されている、請求項 8 に記載の流体インターフェース。

【請求項 10】

前記第 1 の端部は、注射器に接続するように構成されている、請求項 1 に記載の流体インターフェース。

【請求項 11】

前記筐体は、装着可能である、請求項 1 に記載の流体インターフェース。

【請求項 12】

前記筐体は、ベルトクリップを含み、前記ベルトクリップは、前記流体インターフェースを患者によって装着されるベルトに解放可能に取り付けるように構成されている、請求項 11 に記載の流体インターフェース。

10

20

30

40

50